



博物館通信



夏号



2020年7月発行 Vol.76



国立天文台

188cm 反射望遠鏡 & 岡山天文博物館

60周年

Part 2



? なぜ浅口市に建てたの ??

星空は、どこでも見ることができます。しかし、多くの星を見たり、研究のための観測をしたりするには観測に適している条件が大切です。ここ浅口市は、その観測をするための条件がそろっている場所なのです!!



観測に向いている条件



1

晴れている日が多い

雨や曇りでは
大きな望遠鏡でも
星は見えない

2

街明かりが少ない

お店や街灯の明かりが少なく
たくさんの星が見える

3

大気が安定している

周りの空気がゆれていると
星の光もゆれ
瞬いているように見える

ぼくたちが肉眼で見るときも3つの条件がそろっているほうがたくさんの星が見えるよ!!

瞬いていると近くに並んだ2つの星が1つに重なって見えるんだ

60年前、国内に大型の望遠鏡を建てることが決まると、3つの条件がそろっていた3か所（岡山・静岡・長野）で毎月10日間の観測を約1年行いました。その結果、岡山県浅口市が設置場所に一番向いていることがわかり、浅口市の竹林寺山に188cm反射望遠鏡などが建てられました。そして、それらの望遠鏡の仕組みや研究など天文に関することを紹介する施設として「岡山天文博物館」が観測所の隣に建てられました。

しかし、60年たった今、お店や街灯の明かりが増え、少しずつ星が見えにくくなってきています。浅口の満天の星を守るため、誰もいない部屋の電気を消すなど自分たちにできることをしていきましょう!!

60周年記念イベント



※事前申込みが必要
※詳しくは当館HPをご覧ください
※他のイベントもあります。合わせてご覧ください

8/30
(日)



はやぶさ君
@haya2_JAXA

はやぶさ2トークライブ シーズン2

「はやぶさ2がみたリュウグウ

—これまでとこれからの成果—

小惑星探査機「はやぶさ2」のプロジェクト内容や小惑星リュウグウについてなど最新情報もご紹介します♪

★ 講師：吉川 真さん

(「はやぶさ2」ミッションマネージャ)

申込み 7月11日(土)より

10/24
(土)

特別講演会

「電波×光の最新天文学 —水沢と浅口からのぞく宇宙—

ブラックホールの撮影に成功した電波望遠鏡の研究成果や2つの「天文台のまち」で進められている最新の研究についてご紹介します!!

★ 講師：本間 希樹さん

(国立天文台教授・水沢 VLBI 観測所所長) ほか

申込み 9月12日(土)より



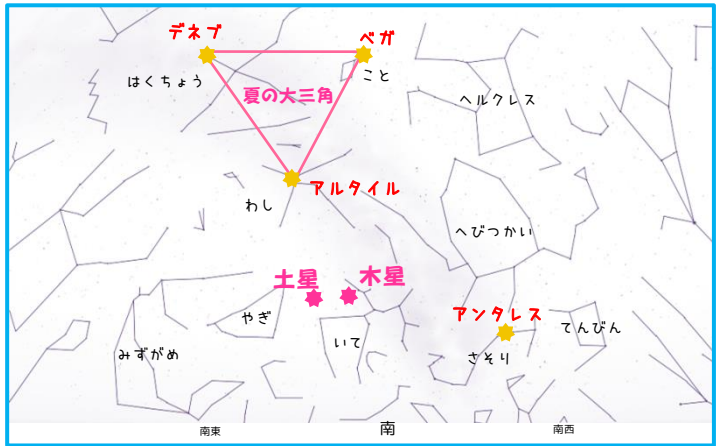


惑星に注目!!



今年は生活の仕方が変わり、疲れている人も多いでしょう。星空を見上げ、ひと休みしませんか？

今年の夏は、惑星の木星・土星が仲良く並び、明るく輝いているので、見つけやすいです。さらに望遠鏡で見ると惑星の特徴を見ることができます。今年は望遠鏡で星を見るイベントも少なくなるかもしれませんが、映像配信などがあるかもしれないのでチェックしましょう!!

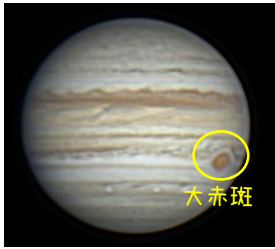


8月15日21時ごろ (ステラナビゲータで作成)



望遠鏡での観察ポイント

木星



©国立天文台 天文情報センター

- ① 表面のしま模様
しま模様は、木星の雲。雲の厚さなどで色の違いがあります。色の違いもしっかりチェック!!
- ② 斑点模様の「大赤斑」
巨大な台風だと考えられています。木星も自転をしているため、見える位置は変わります。

- ③ 周りを回っている4つの衛星
木星の4つの衛星 イオ、エウロパ、ガニメデ、カリストはまとめて「ガリレオ衛星」と呼ばれています。木星の周りを回っているため、いつも同じ位置には見えません。観察する日にどう並んでいるかは調べてみよう!!



8月15日21時ごろ (ステラナビゲータで作成)

土星



©国立天文台 天文情報センター

- ① 大きな環
小さな氷や岩石が集まってできています。環は、A環からG環まで分けられ、A環とB環は小型の望遠鏡でも見ることができます。
- ② 環の間にあるすき間
環の間にはすき間があります。もっとも大きなすき間を「カッシーニのすき間」と言います。

- ③ 表面のしま模様
木星ほどしっかりと見えませんが、色の違いが分かります。

惑星の特徴をしっかりと観察してみよう



イベント情報

※詳しくは当館HPをご覧ください

9/19 (土) ※事前申込みが必要
国立天文台 188 cm 反射望遠鏡
浅口市民向け観望会

8/8 (土) 夏の観望会 天の川を見よう!
8/22 (土) 工作教室 望遠鏡を作ろう!
※両日ともに事前申込みが必要



プラネタリウム夏番組



制作：神戸市立青少年科学館 コニカミノルタプラネタリウム

「宇宙のふしぎ

もしも!宇宙が〇〇だったら!？」

ある夜、男の子 明日人の前にヘンテコな猫が現れ、138億年前の宇宙に迷いこんでしまいます。そこはふしぎな「もしも」が起こる宇宙。

「もしもブラックホールに落ちたら?」「もしも月がなかったら?」

「もしも地球が平らだったら?」など、だれもが一度は考えたことがあるような宇宙のナゾにせまります。



岡山天文博物館

〒719-0232
岡山県浅口市鴨方町本庄 3037-5
TEL/FAX 0865-44-2465

